

編集 後記

日本公衆衛生雑誌50巻記念事業は、1月号には学会および学会誌の沿革、3月号には創刊からの全掲載論文の時代的変遷を中心とする分析結果、7月号に歴代編集委員長による寄稿、9月号に「地域保健福祉における本誌の役割」の座談会、そして今月号に「疫学研究と倫理」の座談会を掲載でき、予定どおり全てを終了し、関係各位に心から御礼申し上げます。今回の事業に関わり、本学会誌が社会の変革をいち早く察知しながら優れた論文を発表してきたことがわかり、本誌が果たしてきた役割の大きさを痛感いたしました。そして、これからの本誌の進むべき方向性がみえてきた印象を強く得ました。地道な地域保健福祉における公衆衛生活動、調査研究・報告、各種の干渉研究の積み重ねが、次の時代の保健医療福祉政策の枠組み作成に反映される事実であります。

会員の日常の努力の成果を報告しやすい学会誌を作成する、それが編集委員会の最大の任務であると考えています。かかる視点から、若い仕事をされる会員の方々に、ぜひ今月号の岡本悦司先生の特別論文および冒頭にあげました50巻記念事業の「疫学研究と倫理」の座談会をお読みいただきたい。「疫学研究に関する倫理指針」が文部科学省および厚生労働省から通達が出されたからというだけでなく、「人」を相手とする保健医療福祉分野は、研究の対象となった「人」に個人情報保護の配慮がどう議論されて、どう配慮されたか、それだけは記載していただきたい。その配慮さえ持っていただければ、記載が不十分かと心配されても投稿してください。編集委員会は、120名の査読委員の先生方にもお願いし、投稿論文の採択については公平な審査がなされるよう努力したいと考えています。まずは、特別論文と座談会をお読みいただきたい。(岡崎 勲)

次号予告

論 壇

感染性廃棄物の判断基準における見直しの必要性
.....宮崎元伸

原 著

乳幼児期肥満と成人時肥満との関連
—石川県における出生後20年間の縦断研究—
.....塚田久恵, 他
レセプト傷病分析の原理とシミュレーションによる妥当性の検証.....岡本悦司, 他
3歳児乳歯う蝕と母親の育児不安
.....岩田幸子, 他

資 料

訪問看護ステーション利用者における感染リスクが高い医療処置実施状況
—医療機関併設の有無による比較—
.....中山栄純, 他